



第78巻 第4号
 年4回発行
 社会福祉法人 慈生会
 〒165-0022
 東京都中野区江古田3-15-2
 TEL 03-3387-5567
<http://www.jiseikai.jp>
 振替口座 ベタニアの家
 00170-6-15317

慢性期医療がめざすもの ～世の中のつながりで～

井上 仁

かつて救急医療をやっていた頃、何ごとにも迅速に対応できる救急こそ医の原点だと疑うことなく専心していました。しかし、傷病を治し医療者が満足する一方で、生気を奪われ新たな苦しみを背負って生きねばならない高齢者を生んでしまい、向き合えない高度医療に対し沸々と疑問が湧き起ります。病気は治しても病人を治せない現状を省み、地域に根ざし生活を中心に据えて、必ずしも治すことに執着しない総合医療こそが安寧に暮らす人びとの求めるものではないかと考えるようになりました。

過剰な病院依存から脱却の時代と叫ばれつつ在宅の普及が進まねば、慢性期医療の需要は絶えないでしょう。しかし、介護医療院の新設など療養の場の枠組みが絶えず変化しているのも事実です。揺れ動く日本人の価値観とも連動し、真に求められ

る療養を創造し、ただの病院に終わらせない努力は欠かせません。

しかし慢性期にやりがいを見出す医療者は決して多くありません。旧来の教育システムの下で弛まぬ研鑽を積んだ者なら、学んだ知識や技術を駆使したいと思うのは自然なことです。難解な病態を紐解いたり適切な手技や薬物により延命を図ることこそ医療の厳然たる目的だからです。そんな医療職を惹きつける術は何でしょう。今の御時勢、働きやすさ居心地のよさは高ポイントでしょう。給料も然り、でも一番は「やりがい」と信じてたい。生かすことだけがやりがいなのか、疑問を投げ掛け学び合うことです。答えは得られなくても、患者家族の目線に立って何が求められているか探り合うのです。文献や勉強会での学びのみならず、一つひとつの事例を多職種でしっかり掘り下げることで、患者さんを師と仰ぎ、そこから学ぶ原点に回帰することで、真の「やりがい」を見出せるのではないかと考えます。

ベトレホーム病院に来て三年になり、当初感じた療養の新鮮さも徐々に褪

せ、ただの病院なのかなと寂しい気持ちになることもしばしばです。何がベトレホームらしきかと、看板の社福だけでなく本来の医療・看護の視点で論ずる時期なのかもしれません。いま、当院では診療システムの完全電子化、いわゆる電子カルテの導入について院全体で勉強を進めています。これまで四病院に五回の訪問を重ね、運用だけでなく慢性期医療の工夫にも着目しています。院内全ての部門の代表者十数人を選抜し、視察前後の議論を含めると今院内で最もホットに活動している協働作業ではないかと思っています。

情報の時代という時流もあります。電子カルテの発想は、医事・薬剤・検査、各部門のシステム更新が同時に迫ってきたのを契機に一線の現場からボトムアップされたものです。他院が本部からの指示で導入しているのと趣を異にしており、やる気は違いますが、当院ではこのような現場主導のプロジェクトを推奨しています。組織運営だけでなく個々の患者さんへの向き合いがまたやさくなる学びについても、創意と工夫を重ねられたら、ベトレホームらしさは醸成できると期待しています。とはいえ、ICTの刷新・維持に掛かる費用は並大抵のものではありません。コストに見合うだけの業務改善・医療安全が得られるか、導入効果も長期に組織的に検証していく覚悟です。さらに、その先には病院の建て替

えが待っています。慢性期医療の深遠な将来性を見越すと、生活重視の住居機能を兼ね備えた複合施設を考えていくのも自然な流れです。そのためには意思決定・人生会議やみとりについて、病院の枠を越え法人一体となって共有していく必要があります。聖家族ホームとはすでに共同研究を進めており、利用者さんの最終段階や救急の対応について情報や意見の交換を重ねています。当院の目玉である地域公益活動の推進は御案内のとおりですが、本業たる医療や介護も地域の信頼を得ていくには中野地区のノウハウも学びたいと思います。法人の連係は貴重な財産であり、これを深化させ蓄え膨らませたいけたら、とささやかに祈ります。

(ベトレホームの園病院副院長)

『ベタニアの家チャリティーコンサート』開催のお知らせ

今年もベタニアの家チャリティーコンサートを開催いたします。

皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

目的 べトレホーム学園卒園生の支援

日時 令和元年十二月十日(火)

開場 午後五時半

開演 午後六時

場所 練馬文化センター(小ホール)

出演 高丸ホットシスターズ

チケット 三千円(自由席)

チケット&申込問い合わせ

(社福) 慈生会 法人本部事務局内

ベタニアの家チャリティー

コンサート実行委員会

新たな希望を灯して出航

東 静香

今年創立八十五周年という佳節を迎えたベトレヘム学園。夏休みを無事に終えられたことを神様に感謝する平和と感謝のミサ及び夏を振り返る行事であるファイヤー祭で、「未来に夢をはこ(85)ぼう」というテーマのもと、創立の節目をお祝いすることになりました。

平和と感謝

謝のミサは、今年度から秋津教会に着任された野口神父様に執り行っていたいただき。聖歌「フレンズ」は、東星幼稚園でよく歌われている子ども達にとってはなじみのある歌です。現在、幼稚園に通っている子どもは元気いっぱい、小学生の子どもは少し懐かしそうに、中学生以上の子どもは幼稚園や小学生につられて口ずさむように歌っている姿が印象的でした。



野口神父様より、ベトレヘム学園が創設されてからの八十五年の歩みのお話をしていただきました。子ども達や職員にとって八十五年は遙か昔の話で、あまりピンとこないのが正直なところです。しかし、日本の激動の歴史に思いをはせたとき、日々当たり前のように生活できていることと体が素晴らしいことなのだと再認識できました。

お祝いといえばケーキ。ケーキの寄付はいただきましたが、全体に紹介するには見えにくいため、大きなケーキを作りました。段ボールでケーキの土台、折り紙でロウソクやイチゴ、生クリームを作って飾りつけをしました。



今回お祝いするにあたり、様々な方のご厚意を賜りました。アートホールで会場がより一層華やかになり、作成してくださった記念映像でこれまでの歩みを振り返りました。カレーなど身の回りにあるものの当

時の物価が紹介されると、見ていた子ども達からは「えー！安い！」と驚きの声、また観ていた職員からは感心の声があがっていました。

さて話は変わりますが、ファイヤー祭の由来は広いグラウンドでキャンプファイヤーをしていたことからだそうです。二年前まではホールで焚火を模した小道具を使っていました。昨年度はそれもなかったため、火を冠した行事名でありながら火の要素が全くありませんでした。「ファイヤー祭だというのに火が全然ない。さてどうしたものか。」係で話しをしているとこんな意見が零れ落ち、冗談交じりで次のアイデアがでました。「焚火がないなら花火を打ち上げればいいじゃない。」マリーアントワネットさながらの一声がきっかけで、オープニング映像に打ち上げ花火を取り入れることにしました。打ち上げ花火を見たことがない子どももいるのでびっくりして泣くかなと心配もありましたが、花火の迫力に魅入っている様子に安堵しました。約十日間、映像制作でパソコンとにらめっこしていたので、「きれいだね。」「すごいね。」という声が聞こえたときには大きな達成感を感じられました。

また、今回は子ども達をどんどん巻き込みました。思い出作りももちろんですが、頼まれたことをやり遂げる達成感や責任感、頼りにされているという自己肯定感を育みたいという思いからでした。オープニング映像の小道具や食事場所を示す各ホーム名の三角柱、プログラムを子ども達に完全に任せたり、一緒に作ったりしました。話を持っていた際に、「任せろ。」と言わんばかりの子ども達の表情に日々の成長が感じられ、とても頼もしくなりました。

作成し終わ

った後には、「すごく楽しかった。またやりたい。」と言ってくれ、子ども達を信頼して何かを任せるといっても大切なことなのだと子ども達から教えてもらいました。

今年のファイヤー祭は、八十五周年という節目ということもあり、例年と少し異なる部分があったり新たな取り組みをやってみたりしました。大きなけがや事故もなく、無事に夏休みを終えられることに感謝の思いでいっぱいです。

(ベトレヘム学園保育士)



勤続三十年を振り返って

鈴木 敏也

六月の永年勤続表彰式では、暖かいお祝いをいただきましてありがとうございます。

最近、職員参加型だった昔のベタニアファミリーコンサートのことを思い出しました。まだ老人ホーム所属だった頃に参加した時のことです。一度も弾いたことのないベースギターの演奏を引き受けてしまい、一か月猛練習して本番に臨みました。その年の会場は旧徳田保育園の二階だったのですが、次の出演者は前のグループの演奏が終わるまで外のペランダで待機しなければならず、真冬で寒くて指が痺んでしまい、緊張してどうなることかと思いましたが、舞台上上がると本当に目の前の足元に子供たちが寝転んで見上げている状態で、目が合ったら何だかおかしくなってきた緊張がとけ無事演奏することが出来ました。今思うと無謀でしたが、いい思い出になりました。他にもシスターの方のコーラスが本当に美しい歌声で、炊き出しのおむすびと豚汁も美味しくて、慈生会の職員が一堂に集まれるアットホームないいコンサートだったと思います。

慈生会に務めさせていただいたおかげで、世界中旅してまわり、気に入った土地でユースホステルと手作りの工房を開業するという夢は叶えられませんでした。今、親の介護も結構出来まし、今は本当によかったです。感謝しております。

(ベトレホーム学園事務長)

「ベタニアサマーフェス」を終えて

大場 秀子

今年で三回目を迎えた夏のイベント。四年前にエブソン夢水族園を開催し、とても多くの方にご来場いただきました。沢山の方々の笑顔に触れ、夏にも地域の方々に来ていただけたイベントをしたいということが、夏のイベントを始めるきっかけだったと思います。

最初の年のテーマは「ベタニアのエンニチ」。地域の方々やホームに入所されている利用者さまやご家族、ケアハウスにお住いの方々、そしてデイに通所されている利用者さまや在宅にお住まいの方々と、私たち慈生会がご縁を繋ぐという気持ちも込めて、このテーマで行いました。

二年目の昨年は、暑い夏に気軽に涼みに来ていただきたい気持ちで込めて「ベタニア森フェス」というテーマで開催しました。前年以上に多くの方々に来ていただき、賑やかなイベントとなりました。

そして、三回目の今年は夏に楽しめることを考えて「ベタニア サマーフェス」としました。クレープやソフトクリーム、冷たい飲み物、そしてヨーヨー釣りや輪投げ・的当てなどのゲーム、竹とんぼ作りという内容をご用意して、来てくださる方々をお待ちしました。

午前中はホームに入所されている利用者さまやケアハウスの方々に来ていただき、童心に帰ってゲームを

したり、クレープなどを食べながら楽しい時間を過ごしていただきました。



午後になると、地域の方々が大勢ご来場いただき、楽しい笑い声や話し声が聞こえ、走り回る元気な姿が見られていました。皆さま、スタンブラリー全制覇を目指して全力で楽しんでくださっていました。

そして、今年の目玉である「竹とんぼ飛ばし選手権」。一番高く飛んだ竹とんぼが優勝です。竹とんぼを作った方に出場していただいて、優勝と準優勝の方には賞品がある！というところで、予想を上回る多くの方々にご参加いただきました。

初回は参加される方が少なかったのですが、次第に参加される方も増え、小さなお子さまやご両親、利用者さまが参加されて、世代を超えて

の真剣勝負に大盛り上がりでした。賞品をもらって喜びいっぱい笑顔、賞品をもらえずリベンジに燃える真剣な眼差し、皆さんの表情がフェスを更に盛り上げてくださったっていました。一六〇名あまりの方にご来場いただきました。途中ヨーヨーが足りなくなるなどハプニングもありましたが、事故もなく終了することができました。



無事に最後まで過ごせたのには、地域等の方々やボランティアで来てくださったことや、実習生さんたちにお手伝いいただいたこと、担当以外の職員のサポートがあったことが大きな力となりました。

皆さま、ありがとうございました。
(慈生会中野ケアプランセンター主任)

ベタニアの家

十月行事予定



1日 ☆宣教特別月間
 1日 慈生会
 新任職員オリエンテーションⅡ
 マ・メゾン光星 光星祭
 6日 東星学園 体育祭
 12日 徳田保育園 運動会
 14日 《体育の日》
 16日 ベタニア修道女会 終生誓願式
 17日 ベトレヘム病院院内研究発表会
 20日 ☆世界宣教の日
 中野地区ふれあいバザー
 26日 ベタニア宣教センター主催
 映画会「ローマ法王に
 なる日まで」
 27日 東星バザー

十一月行事予定

1日 ☆諸聖人
 2日 ☆死者の日
 3日 《文化の日》
 清瀬地区ふれあいバザー
 9日 ベタニア介護の日イベント
 9日 ベタニア宣教センター主催講演会
 「あなたのすべてにありがとう」
 11日 ベタニア宣教センター主催
 秋の展示即売会
 13日 徳田保育園 七五三のお祝い
 17日 ☆貧しい人のための世界祈願日
 17日 ☆聖書週間
 20日 慈生会理事会・評議員会
 21日 ベトレヘム病院公開健康講座
 23日 《勤労感謝の日》
 24日 ☆王であるキリスト
 12月行事予定
 1日 ☆宣教地召命促進の日
 ☆待降節第一主日

7日	ベタニア宣教センター主催講演会 「わたしたちのミッシェン」	計 報	シスターマルセルラ 高橋 百合子	シスターユスタ 高橋 八重	1922年生 歴 月二十九日 立誓願 1955年生 月十七日 婦天 1991年生 月一日 修道女会
9日	☆無原罪の聖マリア				
10日	チャリティコンサート				
12日	創立者フロジャク神父命日				
14日	ベタニアホームクリスマス聖劇				
17日	徳田保育園 クリスマスマス聖劇				
18日	ベトレヘム病院クリスマスマス会				
19日	東星学園幼稚園クリスマスマス会				
21日	東星学園小学校クリスマスマス会				
22日	東星学園中高校クリスマスマス会				
22日	マ・メゾン光星聖劇・降誕ミサ				
24日	ベトレヘム学園クリスマスマス会				
25日	☆主の降誕夜半のミサ				
29日	☆主の降誕 ナザレットの家族 クリスマスマス会				

※今年も各地区でバザーが開催されます。
 皆様のご来場をお待ちしています。

『那須地区 光星祭』

開催のお知らせ

開催日 令和元年十月六日(日)
 時間 午前十時～午後二時
 場所 栃木県那須郡那須町大字豊原乙
 一八九(マ・メゾン光星)
 連絡先 0287-77-11013

『中野地区 ふれあいバザー』

徳田まつり」開催のお知らせ

開催日 令和元年十月二十日(日)
 時間 午前十一時～午後二時
 場所 慈生会中野地区
 連絡先 03-3387-5567
 主催 ふれあいバザー実行委員会
 徳田まつり実行委員会

『清瀬地区 ふれあいバザー』

どんぐり祭・健康まつり」開催のお知らせ

開催日 令和元年十一月三日(日・祝)
 時間 午前十時～午後二時
 場所 慈生会清瀬地区
 主催 ふれあいバザー実行委員会
 (042-491-2528)
 どんぐり祭実行委員会
 (042-491-2529)
 健康まつり実行委員会
 (042-492-2525)

編集後記



秋風を少しづつ感じる季節になりましたが、まだまだ残暑が厳しい日も続いています。今年の夏も西日本では豪雨の被害が続き、異常気象がますます進んでいるように思います。被害者の方々にお見舞い申し上げます。そして、地球温暖化防止に何をすればよいか再度考えたいと思っています。台風シーズンはこちらから本番です、皆様のご安全を心からお祈り申し上げます。(中村 英男)

ここ数年八月に果物狩りに行くのが恒例になっています。昨年はブルーベリー、一昨年は梨、そして今年は桃狩りを楽しみました。毎年同じ時期に花が咲き実を实らせ、私たちはその流れの中で何の不思議もなく当たり前のように日々を過ごしています。でもその自然の流れの中に神様の豊かなお恵みを感じることができると、う心にゆとりを持ちたいものです。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、さて皆さんは・・・。(原田 直人)

九月一日は「被造物を大切に世界祈願日」でした。今、第六期絶滅期の真っ只中で、正常なスピードの数千倍余で毎日二百もの種が絶滅している。この事実に関心な私たち。アマゾンの森林火災の創始、自然や生命を汚染し、神様の創造を破壊し続けています。神様はそこに行動を起こす若者グレタさんを預言者のように遣わされました。九月下旬国連気候サミットで各国が結束した行動に向かうよう祈りと小さな実践を続けます。(Sr中野 利恵)